

ASP導入周知徹底を

建コン協
九州 福岡県と意見交換

建設コンサルタント協会
（建コン協）九州支部（田
中清支部長）は25日、20
24年度の福岡県との意見
交換会を福岡市内で開い
た。建コン協は情報共有シ

ステム（ASP）の導入を
要望。県は10月からASP
の活用を始めており、今後
周知を図るため実施要領を
早急に作成すると応じた。
意見交換は冒頭を除き非
公開で行われた。

建コン協によると、建コ
ン協から県への個別提案の
うち「設計書への直接経費
の明示」について、橋梁点
検車の機種や規格、橋梁補
修設計の各種試験の具体的
な手法や使用機器などの積
算条件が具体的に記載され
ていないケースがあり、意
図しない低入札の原因にな
ると指摘。県は改善を約束
し、不備があれば質問して
もらえれば回答するとし
た。

ASPの導入について
は、県は早急な実施要領の
作成を約束し、実務者会議
などで周知徹底を図ると応
じた。

23年度の意見交換会でも
要望していた「電子契約シ
ステムの導入」に関して、
建コン協は進捗について質
問。県は導入に向けた業務
を財産活用課が担当してお
り、県土整備部も協力して
導入に向けた検討を続けて
いると回答した。

共通テーマのうち履行期
限の平準化では、第4四半
期を履行期限とする業務の
割合の目標値（40%以下）
達成に向け、県は22年度50
%から23年度41%に改善し
たことを報告。改善理由に
ついて、早期発注や繰り越
し制度の活用などこれまで
の取り組みの成果と説明し
た。

県からは年1回の意見交
換会にとどまらず困りごと
など随時相談してほしいと
の要望があり、建コン協は
福岡県部会を通じて日頃か
らやりとりをしていきたい
と応じた。